

東北大会 “王者”たち

仙台育英学園高（加藤雄彦校長）の野球部員ら約70人は21日、台風19号で大きな被害のあった中志田地区の被災住宅にボランティアへ駆けつけ、水が引いたばかりの家屋から災害ごみを搬出した。

20日によくやく人が入れるようになったという同地区の田瀬政則さん方（鹿島台大迫中志田）では、約15人が作業。復旧作業が始まったばかりの家屋には、泥にまみれて使い物にならなくなった畳



や家財道具などが散乱していた。

部員らは同地区に入っているボランティアの人たちと力を合わせ

災害ごみを運び出す部員たち

………
実家の復旧作業にあたっていた清野純子さん(48)は「女手2人しかなく途方に暮れていた。涙が出るほどうれしい。重い物も運び出してくれてとてもありがたい」と感謝。

2年の田中祥都主将(16)は「思ったより被害が大きくて驚いている。少しでも皆さんの力になりたい」と話していた。

同校野球部は、東北大会が台風で延期になった合間に、地元の多賀城市でも稲わらを運び出すなど復旧ボランティアを行った。

て、タンスやテレビなど重量のある家具を搬出。泥水に浸かった畳なども運び出し、災害ごみとしてまとめた。